

令和7年度 松山文化伝承館運営委員会 議事録

◎開催日時

令和8年2月20日（金）午前10時から11時

◎会場

酒田市松山文化伝承館会議室

◎協議事項

（1）令和7年度事業実施報告について

・事務局資料に沿って説明

（委員）山形の特徴を生かす「山形鋳物」や松山の父子絵師の企画展など松山に住んでいる方にとって良い事業だと感じるし、松山に住んでいない方にも松山のことを知ってもらえる機会になる。

（委員）さとうまりこ・齋藤リュータロー作品展で行われた「すがたり」はいい企画だと思うので、来館者が少ないと想定される企画展に合わせて依頼することもできるのではないか。そうするとより来館者が増えると思う。

（委員）コロナ禍が明けても、いまだ観光面では鈍く感じる。

（事務局）観光バスなど団体で動く人が増えていないという認識はある。

（委員）伝承館のチラシを手にとって興味を持つ人を見るが、そこから実際に行くまでが難しいところだ。

（委員）小学校でも総合授業でこどもたちが松山のよさを知るだけでなく、発信・PRしようという試みがある。こどもたちも伝承館の存在は知っているが、企画展に行くきっかけという部分がないように感じる。こども向けのコンサート・トークショー・ワークショップ等と展示内容の掛け合わせにあるといい。

（委員）佐藤芳涼氏の創作和紙人形展で源氏物語の作品に興味を持ったので、ビデオなどで詳しく知ることができれば更に良かった。

（委員）ワークショップ・ギャラリートークは工夫されていると思う。

（事務局）参加者の満足度は高いが、集客とのつながりから見ると難しいものがある。

(事務局) 山形鑄物は山形市内でも展示が難しくなっている状況と伺っている。山形や松山に関わる企画はこれからも行っていきたい。父子絵師展も価値のある展示だったと考えている。

(委員) こどもたちの興味を持つ取り組みやすがたりなどは来期も試みてほしい。

(2) 令和8年度企画展示(案)について

・事務局資料に沿って説明

(委員) こどもたちとの学びのつながりやすがたりはどこで活かそうか。

(事務局) スクールプログラムが来年度6件あり、これは例年と比べて多い。すがたりは「お殿様の書画 庄内藩と松山藩」などの企画展等に検討していきたい。

(事務局) 甲冑体験はこどもも対象に行っている。

(委員) 職員の研修はどうしているか。他の施設を見て学ぶことも重要ではないか。

(事務局) 外部の研修にも参加している。

(委員) 「お殿様の書画 庄内藩と松山藩」については酒田で日本画を学んでいる方もいるのでいいきっかけになると思う。そういった方へのアプローチも考えてはどうか。

(委員) 友禅染めのワークショップとはどんなものか。

(事務局) ハンカチに参加者が色付けまでを行い後日完成品が届くことになる。

(委員) ワークショップやギャラリートークについては、酒田市内との施設とのかかわりを持つことも考えながら行っていけるとなおいのではないか。

(委員) キーホルダーの手作り体験などオリジナルのものを作れる体験は、入館者の促進にもつながると思うので、検討してはどうか

以上